

■人工知能はなぜ椅子に座れないのか 言語活動ワークシート

「 「年」 「組」 「番」 「 検印」 「 」

1 『生命』の発展にとって必要な技術（二六八・15）として、例えば「弱い人工知能」なら、どのようなものが考えられるか。具
体例をあげて説明してみよう。

▼本文の論理の展開を確認する

①本文全体（1）～（12）形式段落）を四つの意味段落に分けなさい。

- 第一段落 「 ……「無限定空間」で生きる生物【問題提起・前提の提示】
- 第二段落 「 ……自分の人生を生きるということ【展開】
- 第三段落 「 ……生命におけるコミュニケーション【結論1】
- 第四段落 「 ……人生の発展のために【結論2】

②各意味段落を要約しなさい。

第一段落

第二段落

第三段落

第四段落

▼筆者の主張について考える

③次の【ノート】は、人間と「人工知能」との関係について筆者の主張をまとめたものである。空欄に、本文中から適当な語を入れなさい。

【ノート】

●第二段落

人工知能が自分の意思で椅子に座れるか

↓「2字」 「人工知能」にはできない

↓それが可能な、意思を持つ「2字」 「人工知能」はまだ存在しない

↓人間や生物のみ「自らの人生を生きる」ことができる

●第四段落

人間自身が「2字」 的に物語を生きる

↓人間が「弱い人工知能」との関係を決定

「人とコンピュータが「5字」 「思想に基づき物語を描く

↓「弱い人工知能」は物語の中で役割を持ち、物語は発展する

← そのためには

人間が持つ「2字」 「とは何かを理解し、必要な「2字」 「を考察する必要がある

▼自分で具体例を考えて論理的に説明する

④『生命』の発展にとって必要な技術』（二六八・15）として、例えば「弱い人工知能」なら、どのようなものが考えられるか。【例】を参考にメモを作成しなさい。

【例】

【弱い人工知能の例】

食べ物カメラに写すだけでカロリー計算する機械

【どのような人がどのような目的で使用することを想定した技術か】

病気を持つ人が自身のカロリー制限に合った食事をとる目的

【その技術は人間の人生でどのような役割を果たすか】

手軽に素早くカロリーがわかるので、多くの選択肢からすぐに食べられる食事を選ぶことができ、食の主体性や満足感につながる

【弱い人工知能の例】

【どのような目的で何をさせる技術か】

【その技術は人間の人生でどのような役割を果たすか】

【弱い人工知能の例】

【どのような目的で何をさせる技術か】

【その技術は人間の人生でどのような役割を果たすか】

⑤ ④のメモをもとに百字程度の文章にまとめなさい。

100	70	40	10
110	80	50	20
120	90	60	30

⑥ ⑤の文章についてグループで発表し合いなさい。他の人の発表を聞いた感想をメモし、伝え合いなさい。

●感想メモ

【弱い人工知能の例】

【感想】

【弱い人工知能の例】

【感想】

【弱い人工知能の例】

【感想】

【弱い人工知能の例】

【感想】